

一般財団法人 社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

全体会合

2020年10月2日

本日のアジェンダ

- 1. 法人化のご報告
- 2. 今後の事業計画について
- 3. メンバーシップ制度について
- 4. Social Impact Dayの開催について
- 5. お知らせ

法人化のご報告

VISION / MISSION

VISION

社会的インパクト・マネジメントが実装され、社会 課題解決や社会価値創造が行われている社会

MISSION

あらゆる組織の社会的インパクト・マネジメントを 促進するとともに、組織や業界、活動分野を越えた 参画・協働を加速する共創基盤を提供します。

団体概要

名称 一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ

(英文表記: Social Impact Management Initiative)

設立 2020年10月

登記住所 東京都渋谷区

代表者 代表理事 今田克司

設立者 ケイスリー株式会社

一般財団法人社会変革推進財団

特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会

株式会社ブルー・マーブル・ジャパン

評議員・監事・理事

評議員(順不同)

青栁 光昌

一般財団法人社会変革推進財団 専務理事

有馬 充美

西武鉄道株式会社 取締役 株式会社プリンスホテル 取締役

太田 達男

公益財団法人公益法人協会 会長

澁澤 健

コモンズ投信株式会社取締役会長 シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代 表取締役

水口 剛

公立大学法人 高崎経済大学経済学部 教授

源 由理子

明治大学 ガバナンス研究科 専任教授

監事

鬼澤 秀昌

弁護士 おにざわ法律事務所代表

理事

伊藤 健(特定非営利活動法人ソーシャルバリュージャパン 代表理事) 今田 克司(株式会社ブルー・マーブル・ジャパン 代表取締役) 鴨崎 貴泰(特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会 常務理事) 幸地 正樹(ケイスリー株式会社 代表取締役)

辛地 正倒(ケイスリー株式会社 代表取締役)

髙木 麻美 (Stem for Leaves 代表)

今後の事業計画

SIMIの戦略的ポジショニング①

- SIMIのVison & Missionの要諦は、「SIM(社会的インパクト・マネジメント)が実装された社会を目指し、そのための共創を生み出す役割を担うことしてある。
- SIMIの戦略上のポジショニングは、民間非営利セクター、民間営利セクター、公的セクターの「**結節点**」(**クロスセクターのハブの存在**)である。
- 複雑化・深刻化する社会課題、そして社会課題として認知すらされていない潜在的諸課題 と効果的に向き合うためにセクターの垣根を超えた共創を主体的におこすポジショニング をとる必要がある。

新VISION:SIMが実装された社会(実装を軸)

「社会的インパクト・マネジメントが実装され、社会課題解決や社会価値創造が行われている社会|

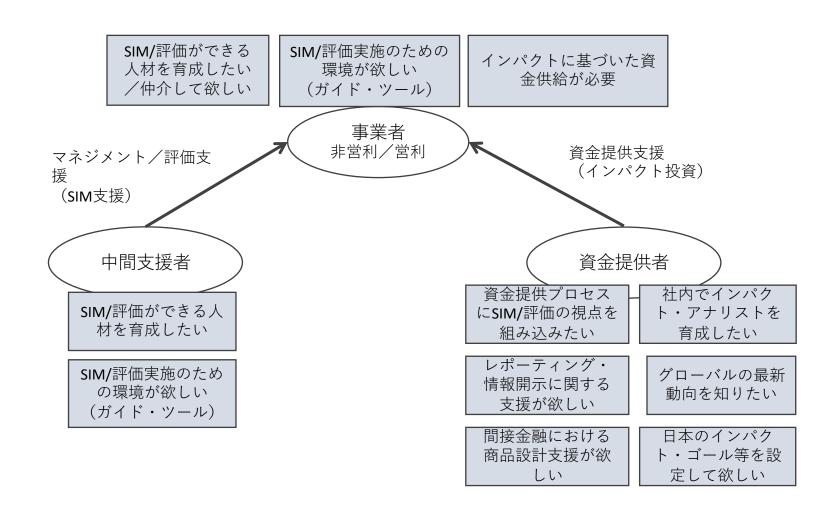
新MISSIONの軸: Proactive (共創を主体的におこす役割)

「あらゆる組織の社会的インパクト・マネジメントを促進するとともに、組織や業界、活動分野を越えた参画・協働を加速する共創基盤を提供します!



ステークホルダー別のニーズ情報の整理

ステークホルダー別のニーズ情報を整理すると、以下のようになる。



ニーズに対する介入施策案の対応

ニーズに対する「介入施策案(事業)」をマッピングすると、以下のようになる。 これらの施策を実現するための大元になるのは、「知見の高度化」だと考える。 また、個社(特に資金提供者)のニーズに対応することで生み出されるプロダクト(保証・認証制度など)は業界全体が裨益する公共財になり得るものが多い。

ステークホル ダー	ニーズ	対応するSIMIの事業 (介入施策)
資金提供者	資金提供プロセスにSIM/評価の視点を組み込みたい	事業協賛or事業委託
	社内でインパクト・アナリストを育成したい	事業協賛or事業委託
	レポーティング・情報開示に関する支援が欲しい	保証・認証
	グローバルの最新動向を知りたい	会員・メンバーシップ
	間接金融における商品設計支援が欲しい	事業協賛or事業委託
	日本のインパクト・ゴール等を設定して欲しい	事業協賛or事業委託
事業者	SIM/評価ができる人材を育成したい/仲介して欲しい	人材育成 (セミナー)
	SIM/評価実施のための環境が欲しい (ガイド・ツール)	知見の高度化
	インパクトに基づいた資金供給が必要	会員・メンバーシップ制度 (資金提供者向け啓発)
中間支援組織	SIM/評価ができる人材を育成したい	人材育成 (セミナー)
	SIM/評価実施のための環境が欲しい (ガイド・ツール)	知見の高度化

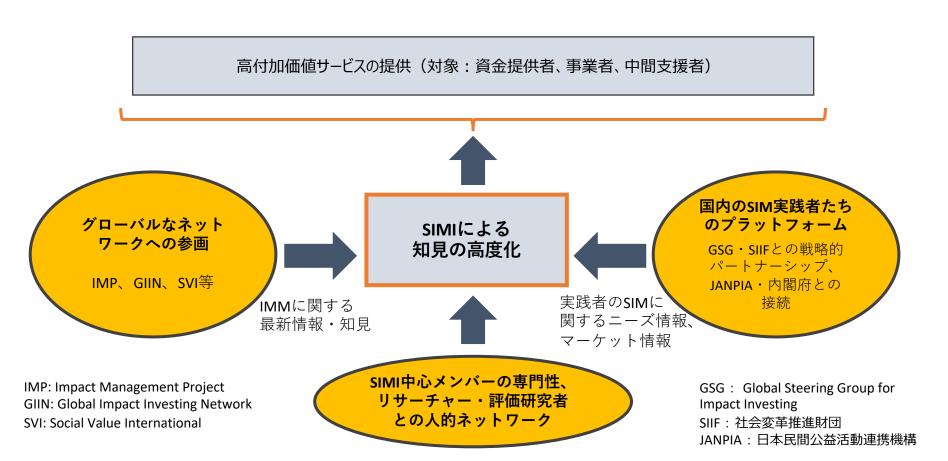
SIMIの取り組み一覧

今後3年間に実施予定の取り組み一覧(開始時期等は状況を見ながら段階的に拡大)

取り組み	概要	対象者
会員	SIMIでメンバーシップを構築する。会員には、 最新ニュース、プラクティス、交流会、知見 の提供などを優先的に行う。	全てのステークホルダー
事業協賛	社会実験に知見と資金を集めながら業界全体が裨益するような共有知(プロダクト)開発を目指す	インパクト投資家中心 →全てのステークホルダーへ裨益
人材育成(セミナー)	・普及啓発系のセミナー ・SIM基礎研修他	全てのステークホルダー
保証・認証 *実施も含めて今後検 討	レポートまたはSIMプロセスに対する保証 (海外で用いられている仕組みを輸入)。さ らに保証者の育成・登録も行う	保証:事業者、資金提供者(金融) 保証者:中間支援組織など
Social Impact Day などのイベント	年次イベント等	協賛:資金提供者 イベント参加者:全てのステークホ ルダー
事業委託	省庁案件の調査委託、金融機関案件の調査・ 実証事業委託	省庁、自治体、金融機関など
情報公開・発信	SIMに関する知見や最新情報の公開・発信	全てのステークホルダー

「知見の高度化」の源泉と、それによる高付加価値サービスの追求

• 「高度化した知見」を用いて、SIMIの主要なステークホルダーである資金提供者、事業者 (営利、非営利)、中間支援者にSIMIならではの高付加価値サービスを実施する。



IMM: Impact Measurement and Management インパクト評価・マネジメント(インパクト評価は単なる測定でなく、一連のマネジメントのプロセスの中に組み込んで効果を発揮するという、インパクト投資コミュニティの中で育ってきた考え方)

SIM: Social Impact Management 社会的インパクト・マネジメント

「知見の高度化」の具体的な事業(2020年度)

- 知見の高度化をベースにした将来的なSIMIの中核事業(2020年度は基本的に仕込み時期)
- Webサイトの充実によるコンテンツ開発・普及体制の構築

【タ渉位個添体プロじつ同も関系をがいる。のでは、これのではないのでは、これのでは、これのではないのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これのでは、これ

事業エリア	目的	概要
SIMガイドラインの改訂 ・定義の改訂を含む ・ IMP による基本的考え 方に対応させる	国内におけるSIMの基 本的理解をあらゆるス テークホルダーで揃え ていく	ガイドライン改訂作業と普及
(着手) 日本のインパクト・ゴール&メトリクス設定・ IRIS+の日本版・ アウトカム・データベースの充実	 国内のインパクト投資やインパクト・マネジメントのボトルネック解消 国内の社会的事業の発展 知の還流の促進 	日本のインパクト・ゴールを設定し、IRIS+の日本版を構想。 付随物として、事業者、インパクト投資家に向けた実践ガイド、エビデンスレベルの高いアウトカム・データベースを構築など。
(着手) アシュアラン ス (レポート、マネジ メント) の導入	クオリティ・コント ロールの実現SIMに対する信頼性 向上	アシュアランス(レポート、マネジメント)システム。 またアシュアラー(保証 人)の育成、認定制度も検 討する。

その他事業

■ SID (ソーシャルインパクトデイ)

• 新生SIMIの提供価値(知見の高度化)コンテンツ化してプログラムを作成(2021年1月 開催予定)

■ 人材育成(セミナー)

- これまで行ってきた**SIM基礎研修**を今後も全国で行う予定(オンライン開催)
- 知見の高度化からコンテンツを発生させセミナーや研修メニューを充実させていく

■ SIMの普及啓発や業界全体が裨益する様な調査研究(事業委託収入)

• 2021年度以降官庁案件への受託などSIMの普及啓発や業界全体が裨益する様な調査研究事業の受託を目指す。

■ その他

• その他各種助成金への申請も積極的に申請していく。

その他事業(体制面)

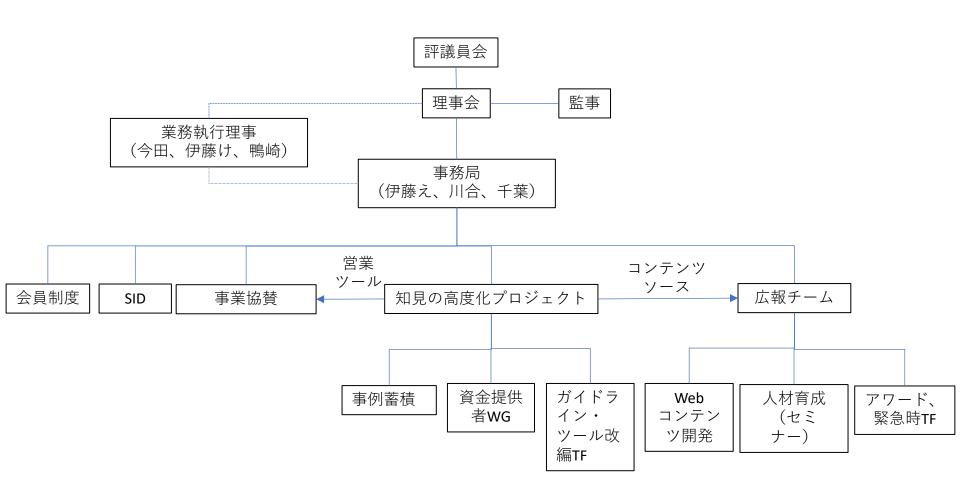
■ WG(ワーキング・グループ)・TF(タスクフォース)運営と予算配分について

<基本的な考え方>

- WGは、活動を全体戦略と整合させることに重点をおきつつ、WGへ予算配分を行いある程度の裁量権をもってもらい活動してもらう。外部の人のSIMI参加の入り口の確保とゆとり幅を設けることで予期せぬインパクトが生まれることを想定。
- TFは、今後事務局機能に段階的に統合

<具体的な施策>

- 資金提供者WGは全体戦略との高い整合性が求められるため、知見の高度化プロジェクトと 連携しながら、資金提供者コミュニティからのニーズ集約、活性化や啓発などを行う。
- 事例蓄積WGは知の高度化プロジェクトと一体としてを再設計する。
- アワード、緊急時TFは2020年度に関しては事務局と連携しながら活動を実施



メンバーシップ制度について

メンバーシップ概要

<メンバーシップ種別案>

メンバーシップは、「無償」と「有償」の2種類で設定。

- 1. 賛同メンバー(仮称) 社会的インパクト・マネジメント(SIM)に関心のある人・組織でSIMIの事業 や活動に共感・賛同することを表明するメンバー
 - 会費:無料(インパクト志向原則への賛同が条件など)
 - 会員特典など:メルマガなどを通じた情報提供など
- 2. エンゲージド・メンバー(仮称) 会費を払い、SIM推進活動を主体的に支えるメンバー
 - 会費:営利非営利問わず、売上別(1億円未満5万円、1億円以上10万円)
 - 会員特典など:次スライドに詳細掲載

エンゲージド・メンバー特典

【エンゲージド・メンバー特典案】

○会費

個人(12,000円)、

法人:売上別(1億円未満5万円、1億円以上10万円)※営利非営利問わず。

- ○会員限定の勉強会・交流会
 - SIMに関する勉強会及び交流会への参加権利。
- ○各種割引制度

SIMに関する研修、イベントなどの参加費の割引

○情報発信サービス(法人会員のみ)

SIMに関連する法人のサービスやイベント情報、求人情報などの発信

掲載媒体:本HP、メールマガジン

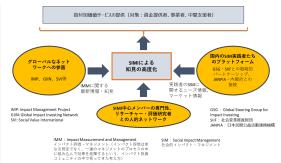
掲載頻度:年2回まで(追加のご紹介は1回につき3万円)

事業協賛の募集

【SIMの知見高度化およびSIMの推進に向けた事業協賛の募集】 事業協賛メニュー

1. SIMやIMM等に関わる具体的な知見の高度化プロジェクトへの協賛・参画

プロジェクト候補	目的	概要
日本のインパクト・ゴー ル設定、IRIS+の日本版	国内のインパクト投資 のボトルネック解消	日本のインパクト・ゴールを設定し、 IRIS+の日本版をつくること。 付随物として、事業者、インパクト投 資家に向けた実践ガイドなど、実践者 に有益な情報をまとめる。
アシュアランス (レポート、マネジメン ト)の導入	クオリティ・コントロールの実現SIMに対する信頼性向上	アシュアランス(レポート、マネジメント)システム。 またアシュアラー(保証人)の育成、 認定制度も検討する。
アウトカム・データベー スの充実	国内の社会的事業の発展知の還流の促進	エビデンスレベルの高いアウトカム・データベースを構築する。



2. Social Impact Day等のSIM推進イベントへの協賛・参画







3. その他、SIM推進に資する事業への協賛・参画

今後のスケジュール

【新メンバーシップ制度スタートに向けたスケジュール】

新メンバーシップ制度の開始に向けて、移行期間を設けます。

(スケジュールイメージ)

2020年10月 新メンバーシップ制度の移行期開始

• 以降、各組織において移行期間中に新メンバーシップ制度への 移行を検討

2021年6月末 新メンバーシップ制度

※ただし、2021年6月末までは「退会」の意思を事務局に届け出た組織以外は、「メンバー(暫定)」と して従来通りウェブサイト等への掲載は継続する

※移行期の期限である2021年6月末までに「退会」の意思を事務局に届け出た組織以外は、新メンバーシップ制度(無償メンバー枠)に自動移行となる。

Social Impact Dayの開催について

SIDの開催について

1. 開催時期について

現在、2021年1月末を想定し、概要の調整中

※当初2020年11月と設定していましたが、法人化に関わる準備、作業等の事項への対応が必要なこと、 また法人化後初めてのお披露目イベントとなることから、十分な準備な準備時間を取るために2021年 1月末へ時期の変更を行います。

2. 開催方法について

オンライン開催(同時通訳付き)

※2021年1月末時点のCOVID-19の収束が予測がつかないため、イベントは完全オンライン開催とします。これまで参加が難しかった全国の方々のご参加をお待ちしています。

3. 内容について

SIM推進のために必要な様々なステークホルダーのニーズに応えるイベントと出来るよう、準備を進めています。取り上げてほしい内容、事例等がありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

お知らせ

11月開催のイベントについて

2020年11月に、「緊急時における

社会的インパクト・マネジメント」についてのイベントを開催します!

(日時等の詳細は検討中。決定次第ウェブサイト等を通じてお知らせします。)

◆参考:2020年7月の開催レポート(全6回)

第1回:https://www.impactmeasurement.jp/info/6384 (残り5回分については、左記URLからリンクで飛べます)

◆2020年7月に開催した際には、以下の4名の方にご登壇いただきました。

